

手賀沼親子自然観察会

日時： 2012年9月30日(日)10:00～12:00

場所： 手賀沼 沼南側ヒドリ橋たもと

【プログラム】

10:00 手水研代表 鈴木挨拶

10:10 田中さんミニ講演『東葛地区の生き物』

10:30 モンドリ仕掛け

10:45 魚とり(手網、釣り)

11:30 左村さんレクチャー『手賀沼で見られる草花』

11:45 モンドリ引き揚げ、魚の分類、まとめ

小学生以下は親子参加。一般参加は47名、スタッフは14名、合計61名



田中利勝さんは、この水路が、手賀沼、利根川そして海につながっていることを考えて自然を観ることを教えてくださいました。

佐村さんは、手賀沼周辺の植物の特徴をお話しされました。



モンドリ、釣り、タモ網などで魚とり。たくさんの生き物に、子どもも大人も夢中。最後にどんなものがとれたのかをみんなで確かめました。



【観察された水生生物】

在来種： モツゴ、ヌマチチブ、メダカ、スジエビ、テナガエビ、ギンブナ、
ドジョウ、タウナギ、クサガメ、タイコウチ

国内外来種： ツチフキ、

国外外来種： タイリクバラタナゴ、カムルチー、アメリカザリガニ、
ミシシッピーアカミミガメ、シナノヌマエビ

特定外来種：ウシガエル(オタマジャクシ)

参加者や実施団体の 感想

今年の特徴として、外来種「ブラックバス、ブルーギルの幼魚」とトンボのヤゴ、ヨシノボリが採れなかったこと、
タウナギの幼体が採れたこと(サイズから生息、繁殖の可能性大)だった。

手元が狂って、水槽に入れてしまったメダカ(カダヤシ?)をヌマチチブが丸呑みしたのを見て、ビックリした親子さんが印象的でした。こども達の歓声がなによりの喜びと達成感のご褒美でした。